

① 神戸空港の近くで新庁舎を運用し始めた2つの隊の名前を書きましょう

[]
[]

② 従来の神戸ヘリポートは何時まで運航できましたか。

[]

③ 新庁舎は何時まで運航できますか。

[]

④ この記事を読んで、感想を書きましょう。

[]

防災ヘリの新拠点完成

県・神戸市共用 夜間飛行可能に

神戸空港近く

ヘリを使った山岳救助や救急搬送などを担う兵庫県消防防災航空隊と神戸市航空機動隊の新庁舎がこのほ



兵庫県と神戸市の消防防災ヘリの拠点となる新庁舎

ど、神戸空港（神戸市中央区）の近くで運用を始めた。従来の拠点だった神戸ヘリポート（同区港島中町8）は

整備が始まる大阪湾岸道路（阪神高速湾岸線）西伸部の工事対象エリアに入るため3月末で廃止された。

日没までしか運航できなかったが、同空港の管制下に入ることで飛行可能な時間が延び、現場活動を長く行えるようになった。26日に披露式があり、関係者ら約180人が完成を祝った。

新庁舎の敷地面積は約1万7千平方メートルで、格納庫を含めヘリを最大10機駐機できる。運航時間は従来、日没の午後6時ごろまでだったが、午後10時まで可能になった。大規模災害を想定し、約72時間連続で自家発電する非常用設備も備えた。

両隊は2004年から消防防災ヘリ3機を共同運用している。隊員約30人が交代で常駐。救助活動や建物火災時の情報収集などで現場に駆け付け、17年の出動件数は487件に上る。

両隊の隊長を務める金原克司・神戸市消防局消防監（55）は「さまざまな災害に対応する空の防災拠点の役割を今まで以上に果たしたい」と話した。（金 豊華）